

大川原とは…大川原は福島県大熊町にある地区です。町は、2011年3月の東日本大震災に伴う原発事故により全町避難を余儀なくされましたが、2019年4月にこの大川原地区と中屋敷地区に限り避難指示が解除されました。大川原地区には新しく役場庁舎や公営住宅などができ、住人が日々の暮らしを再開しています。

発行：大熊町ふるさと未来会議 問合せ先：mirai@town.okuma.fukushima.jp

こんにちは！大川原に暮らして約2年。電車での帰り道、生活循環バスとの時間が合わず、大野駅から歩いて帰っていたら、パトカーに止められた経験があります。あの時これがあれば!!という事業を試してみました。「タクまち」です。

タクシーにはちよと近くて、歩くにはちよと遠い…。そんな町内でのお困りごとを解消するため、町が始めました。今年度は実証実験として1~2月、講習を受けた町職員などが運転手を務めました。

タクまちステッカー。今年度は終了です。



タクまちステッカーが、運転手の自家用車を使います。

タクまちで

「ちよとそこまで」

やってみました



だからステッカーが目印です。

1月の週末。役場とネクサスファームのいちご直売所の往復を予約。時間通りにステッカーを見つけた車を発見しました。運転手が同僚であるかはほぼタクシー。無事いちごを購入しました。

普段、運転手私は、日常的な利用はなかなか想定できませんが、町内の友人宅に行った夜の帰りに利用できたら嬉しい。アンケートには「夜の運行希望」「代金を設定してもいい」と回答しました。

来年度も実施予定。町民の運転手募集も検討中とのこと。町民同士で「ちよとそこまで」を支え合えればいいですね。

昼も夜も、町外にも運行を広げて欲しいと23…。でもタクシーやバスなど民間事業者の仕事の妨げにならないことが大前提とのこと。なるほど。



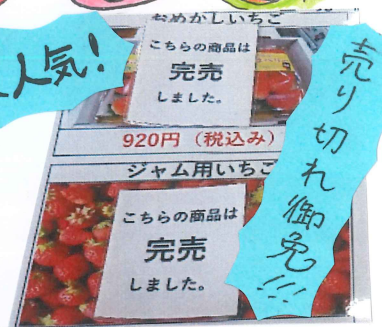
運転席との間の仕切り。

20ナ灯箱も万全です。

# 冬イチゴ販売中!

表面の夕マチを利用して、ネクサスファームおおくまの冬イチゴを買いに行きました。現在販売中の冬イチゴは「かおり野」と「やよいひめ」の2種類です。かおり野は名前のお通り、箱を開けた瞬間フワッと甘い香りが漂い、食欲をそそります! やよいひめは、優しい甘さと酸味のバランスが絶妙でした! 個人的にはやよいひめが「もう1個!」となり好みです。

大人気!



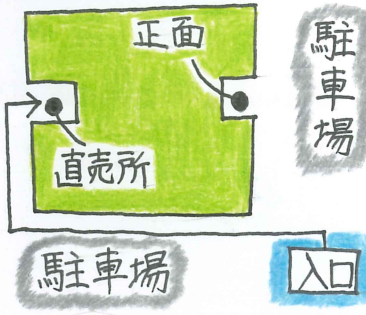
売り切れ御免...

毎週火・木・土曜日の12時~13時に販売していますが、あっという間に完売することも多いそうです。行く時はお早め!

**new!**

ちょうど「セミドライフルーツイチゴ」が発売開始とのこと。さっそく購入。ぜひご賞味あれ!

直売所は裏手に回る必要があります。



# あつまれ! 大川原のペット



この2

ニワトリたちがおどむかえ!

こんにちは! ようやく2回目のペット特集ができました! 今回は大川原でニキゴイとニワトリを飼っている松永夫妻のおうちにおじゃましました☆

取材中に9P発見!

10羽分寝床をつくらなくて夜になるとみんなぐっすり寝ているなあ~



なんと手づくりの池だそうです! 近くの川でつかまえた生き物を入れたりもするそうです!



よく見ると、くちばしがそんなにとんがっていません。取材後に調べてみたところ、にわとり同士が傷つかないように、支障がない程度に切ります。

2020年の6月からにわとりを飼い始めたの。水・えさやりは大変! でも自給自足な生活ができてとても楽しいです! 卵の大きさがこんなにバラバラなこともあります!



おみやげに卵を頂きました! 帰ってからクッキング!

とってもおいしかったです! ごちそうさまでした!

ニワトリはどりが10羽います!